

高千穂町立上野中学校 学校紹介

神話と伝説の町「高千穂町」の神々しい山々に囲まれた素晴らしい環境の中で、上野中学校は昭和22年に創立され、70年の歴史を刻んできている学校です。平成20年に新校舎が完成し、上野小学校との小中併設校として同じ校舎内で小学生と中学生が学んでいます。

本校では、義務教育9年間をとおして、「自分に誇りを、友に誇りを、そして学校・地域に誇りをもつ子どもたち」の育成を目指しています。「上野プライド」という合言葉を設定し、子どもたちが日々の学校生活の中で3つの誇りを意識して、成長してくれればと考えています。

地域の方々は、学校に対する愛着も深く、地域の子どもたちを地域で守り育てていこうとする気運がしっかりと根付いています。特に「上野臼太鼓踊り」、「神楽」に関する伝統芸能の学習では、地域の方を師匠として迎え、何度も練習会を実施しながら、地域に根づく伝統芸能を継承し、未来のある子どもたちに豊かな学びを体験させていただいています。

誠実な子どもたち、協力的な保護者や地域の方々、そして素晴らしい環境のもと、全職員一丸となって、一生懸命教育活動に取り組んでいます。

現在中学生34人の小規模の学校となっていますが、「どうせやるなら日本一」を目標にかかげて、3つの部活動が活躍しています。令和2年度宮崎県中学校秋季体育大会では、女子剣道部が見事に優勝を飾りました。野球部は7人の部員ですが、隣の田原中学校と合同チームで活動をしています。また、ソフトテニス部は女子2名ですが、毎日練習に励んでいます。



【JRC活動の一環：地域への挨拶運動】



【文化祭：上野臼太鼓踊り】